

# vol.4

2025.6.16 発行

# ハンダタイムズ



## Y. O

1984年（昭和59年）に入社して以来、さまざまな現場を改善してきた Y. O.。現在は名阪工場に所属している。業績の芳しくない工場を立て直し、それが終わればまた次の工場へと異動の回数は13回にも及んでいる。40年間、ハンダ技研工業株式会社のために全力で走り続けてきた Y. O. の軌跡をたどる。

### トラック好きが高じて入社を決意

高校卒業後、別の会社で働いていた Y. O. に、ハンダ技研工業の奈良工場で事務員をしていた、いところから求人紹介された。ドライバーの募集であり、トラック好きの Y. O. にぴったりだと思ったのだろう。話をもらったときには「そこで働きたい」と即決。こうして、トラックドライバーとしてハンダ技研工業での人生がスタートした。

入社から半年ほどたった頃に、社員旅行でハワイに行ったのは良い思い出の一つ。当時、数人の友人がグアムに行ったことがあると聞いていたが、海外旅行など自分にはなかなか縁遠い話だと思っていた。だからこそ、なおさらうれしかった。

### 突然舞い込んできた奈良工場の立て直し

入社直後は奈良工場に配属され、その2年後に本社勤務。そこから数年ごとに名阪工場や奈良工場を行

き来するようになる。その中で印象に残っているのが、2003年（平成15年）頃に出向いた奈良工場での出来事だ。奈良工場に配属されるのは、そのときすでに4回目。何が起きているのか詳しい事情を知らないまま、自身は工場の応援要員だと思い現地向かったが、実際には主体となって業績を立て直してほしいという要請だった。異動から2週間が過ぎた頃、橋田会長から「君に任せようまいかなければ、もう工場を閉めるしかない」と言われたときは愕然としたという。

それでも、「任せられたからにはしっかりと成果を出さなければならない」と挑戦を決意。注力したのは工場のメンバーの気持ちをそろえることだ。一人ひとりと対話し、二人三脚で業務に取り組んでいった。生産性を向上させ、品質を改善。従業員のモチベーションが上がったタイミングで、それをさらに後押しするかのようにな新規の仕事を流し込む。最初は Y. O. が皆を「頑張れ」と激励していたが、いつの間にかメンバーから「もっと仕事をください」と要望がくるほどに現場は活気づき、目に見えて業績は改善していった。

### 新たな仲間との絆を丁寧に深めていく

奈良工場の立て直しを成功させ、2011年に次の舞台として指定されたのが、M & Aによってグループに

入った会社だった。ユニフォームさえ異なる会社で、社員たちは買取側の Y. O. に対して硬い態度を崩さない。

ハンダ技研工業の仕事のスタイルを採用することで効果があることを実感してもらい、自分はこの会社の業務をより効率的に進めるために来たのだと、理解してもらうことに尽力。じっくりと時間をかけて社員たちとの仲を深めていった。丁寧な対話によって、社員たちは新しい環境にも積極的に対応してくれるようになり、1年が経つ頃にはハンダ技研工業のスタイルも定着していった。

### 大きな挫折感を乗り越えて

ところが異動から2年目。ようやく軌道に乗ってきたという段階で、突然戻ってくるよう、橋田会長から連絡が来たのだ。

「おそらく、私の至らないところがあったのだと思います。要因は一つではなかったでしょう。それでも、ここで骨をうずめる覚悟で異動した身としては、突然の帰還命令に戸惑いました」。

戻ってから1年ほどは、エネルギーが枯渇してしまっただかのような状況だった。

その後、心配した橋田会長が新たなミッションを与えたことで、再び気持ちを奮い立たせ、チャレンジする意欲がわいてきた。難易度が高ければ高いほど、がむしゃらになれる。そうして Y. O. は復活を遂げたのだ。

つい先日、40年の永年勤続で表彰を受けた際、吉岡社長から「80歳まで働いてほしい」と激励を受けた。その言葉を聞いたとき、消えていた情熱の灯がまた燃え上がった気がしたという。

「失敗も成長の糧になります。若手の方たちには、ぜひチャンスがあれば恐れず挑戦をしてもらいたい。そのためには、私のようなむちゃくちゃな先輩がいたことを知っていただけたら幸いです」。

走り続けて40年。ハンダ技研工業における Y. O. のゴールテープは、まだずっと先にあるに違いない。



## Y. O. さんって どんな人？



名阪工場  
第二製造部 金型工場  
チームリーダー

H. H. さん

### Q1. Y. O. さんは私にとって……

**橋田技研工業（旧）を誰よりも知る「歴史的人物」！**

約6年前、名阪工場を訪れた橋田会長が工場を見渡し「スカッとせんのお……」と不満げにつぶやかれました。当時、私には橋田会長がどこを指しているのか理解できませんでした。Y. O. さんは橋田会長と同じ景色を見て「こういうことやで」と即答。対策後、再度来社された橋田会長は「スカッとしたの！」と大変満足されたそうです。橋田会長のその一言には「①安全性②生産効率③品質と管理」の全てが含まれていたと後から知り、Y. O. さんの深い洞察力に感銘を受けた忘れられないエピソードです。

### Q2. ここがすごい！

**独特の営業嗅覚を持つところ**

橋田会長の「安く作って高く売る」という教えを、まさに実行されている方。製品は製作方法が同じなら原価も同じですが、売値は相手先や状況によって変わります。Y. O. さんは、特に初めての取引ではその価格帯が今後の基準となる重要性を理解し、見積りを行います。多くの方が「いくらならできるか？」と考える中、Y. O. さんは「この相手と状況ならどこまで通用するか？」を常に追求。「本当にそんな見積りを提示して大丈夫？」と何度も思いましたが、結果として相手先に喜んでいただき、継続的に仕事をいただいています。また、一般的な価格帯でなければ通用しない相手先の場合でも、その中で最大限の条件を見積もる点はさすがです。

### @B. Message

あと数年で定年を迎えられますが、80歳（目標90歳）までお仕事頑張ってください！



## 経営理念

# 「人をつくり、 技を売る」を 深掘り！

vol.  
02

橋田会長は、「お客様の困りごとを解決するためには、技術力と精神力を兼ね備えた人材を揃えておくこと、そのためには教育が大切だ」という考えから「ハンダ塾」を開講されました。

vol.2では、H 取締役が最も重視する「卒業後」のあり方や理想のリーダー像をメインにお伝えします。

## 理想の社員像

### 貪欲に成長し続けようとする姿勢

「ハンダ塾」は、一定の勤続年数・評価、年齢を満たす社員やマネージャーの推薦で選ばれた社員が対象で、週1回の講義を1年間受講して卒業という流れになっています。私自身は、卒業後の行動が全てだと思っています。1年間で積み重ねた土台をどのように業務に活かせるか、どれだけ自主的に動けるかが一番重要だということです。

私を含め上に立つ社員は、自分自身や部下が成長できる職場づくりに努め、現場の効率化や新事業への挑戦の指揮をとれるリーダーにならなければなりません。それが「人づくり」につながります。会長がよく「工場長は社長と同じ」とおっしゃるとおり、今後、各部門のトップに立つ社員の教育の場を、「ハンダ塾」以外でも作っていきたいと思います。

取締役

D・H さん



### H 取締役からのアドバイス

#### 社員やそのご家族の幸せを考える

私自身、「ハンダ塾」で学んだ47項目の一つひとつが、マネージャー業務に活かしています。一番大切にしているのは進んで動くこと。インプットも大切ですが、アウトプットができなければ意味がありません。「チャレンジには失敗がつきもの」とおおらかに構えてどんどん挑戦しましょう。それが社員、ひいてはそのご家族の幸せにつながります。もちろん私も、トライアンドエラーを繰り返しながら前進していきたいと思っています。

### 次回予告

今後も続いていく「経営理念シリーズ」！皆さんの疑問を解決したり、実際に理念に則した行動をしている社員を紹介したりと、さまざまな企画を考えています。お楽しみに！

# 趣味の達人たち

## ハンダ技研の多彩な才能を紹介

### 私の趣味は「洗車」



㈱MFE HIMUKA  
専務取締役  
Y・T さん

社用車を支給してもらってから、洗車機ではなく、手洗い洗車をしています。高圧洗浄機、純水器などを使用し、こだわりの洗車クロスとカーシャンプーで1か月に2回程度は洗車しています。



### 始めたきっかけ

社用車を支給してもらえるのは非常にありがたいことなので、ぞんざいに扱ってはいけなくと考えています。東京工場に勤務しているときに G 師匠に出会い、洗車のいろはを教えてくださいました。手洗い洗車を始めて1年ほど経ちますが、水垢などはほとんどなく、きれいに維持できています。

### 仕事への好影響

仕事で使う設備・備品工具などは、しっかりとメンテナンスすることにより、きれいに長く使えるのだと再認識できました。

### 私の趣味は「ソフトボール」

小学3年生からソフトボールを始め、高校、大学、社会人では本格的に取り組み、U-19や全国大会準優勝まで経験することができました。第一線を退いた今は、ソフトボールが好きな仲間を集めてチームを作り、練習や試合に励んでいます。体が動く限り、ソフトボールを続けたいと思っています。



### 始めたきっかけ

小学生の頃に母に勧められたのがきっかけです。自分自身が活躍したときの喜びはもちろん、チームメイトと一緒に喜んでくれたときの嬉しさは、団体競技ならではの魅力です。楽しみが日々の活力になります。

### 仕事への好影響

仲間とのコミュニケーション能力が養われました。仕事で行き詰まったときは、積極的に質問して問題を解決したり、たくさんの人と会話をする事で、さまざまな考え方を身につけたりすることができ、仕事に役立っていると感じます。

霧島工場 第一製造係

M・H さん



## 社長の小部屋

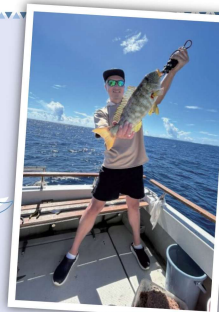
### 吉岡社長の趣味は何ですか？

### 「釣り」

小学生のときに川で遊んだ際、釣り人を見て興味を持ちました。その後、鮎釣り、鯉釣り、ブラックバス釣りを経験し、社会人になってからは海釣りもしています。見えない魚との駆け引きが面白く、ヒットしたときは最高潮のひとときです。時間を忘れて夢中になり、リフレッシュできます。今年は10年ぶりにブラックバス釣りを再開しようと思い、道具のメンテナンスを行っている最中です。



趣味を楽しむことは、日々のストレス発散になると実感しています。別途紹介しますが、私は多趣味です！1つ趣味を持つだけでも十分だと思います。運動をする、サウナ・岩盤浴に入るなど、心身のコンディションを整えて人生を楽しみましょう！



## 千葉県の幕張メッセで

### 展示会に参加します！

昨年も反響が大きかった「機械要素技術展」に今年もハンダ技研がブースを出し、出展いたします。

今回は昨年の2倍のエリアを貸し切ってハンダ技研の魅力を来場者に発信していきます！ハンダ技研の他に機械部品・加工技術・表面処理・DXコーナーを中心に1800社の企業様が出展されますので、最新技術に触れるだけでなく、新たな取引先との出会いが期待できます！ご興味がある方は是非ご参加ください！

### 第30回 機械要素技術展

日程 2025年7月9日(水)～11日(金)  
10:00-17:00

### 会場 幕張メッセ

参加方法 右記QRコードもしくは  
イベントHPサイトから  
事前登録

主要参加工場：東京工場・福沢工場・  
名古屋西工場・八尾工場・岡山北工場

参加費  
無料



東京工場・営業部  
チームリーダー

ハンダの魅力・技術力をアピール出来る絶好のチャンスです。1つでも多く新たな出会いをつなげられるように頑張りますので、ご協力をお願いします。